

平成 26 年 6 月 27 日

関係各位

「学術情報の利用に関する調査」へのご協力をお願い

学術図書館研究委員会

学術図書館研究委員会 (SCREAL; Standing Committee for Research on Academic Libraries) では、学術情報の利用環境の変化が利用者の情報需要や大学図書館に対する期待と要求にどのような影響を与えているかを把握するため、2007 年および 2011 年に「学術情報の利用に関する調査 (電子ジャーナル等の利用動向調査)」を実施し、Web サイト等において調査結果を公表してきました (<http://www.screal.jp/>)。

さて、本委員会では、2014 年度に第 3 回調査を以下のように実施することを計画しています。実りある調査となるよう、調査の実施に向けて関係各位のご参加とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

この調査は、国立大学図書館協会 (2001, 2003)、および公私立大学図書館コンソーシアム (PULC; 2004) によって行われた『大学における電子ジャーナルの利用の現状と将来に関する調査』の一部の質問項目を引き継ぐものであり、定期的な実施により、継時的変化の把握に努めることにしています。また、質問項目については、テネシー大学テノピア教授による利用者調査等との国際比較を念頭に置いています。こうしたことから、本調査によって得られるデータは、学術情報の出版流通を担う、学協会、出版社、大学図書館等に対し、今後の方向を検討するための基礎を提供するものでもあります。したがって、調査結果は、速やかに集計、分析を行い SCREAL のウェブページ等において公表するとともに、後述する“機関としての参加”機関に対しては、機関ごとの集計結果を送付いたします。公表にあたっては「調査結果については自由記述欄も含めて公表対象とすること、ただし、個人が特定されるような形での公表は一切行わない」旨を調査用の Web ページ上に明示し、調査者の理解と了承を得ることに努めます。

なお、今回の調査は、科学研究費補助金基盤研究(B)「デジタル化時代の学術情報利用」(平成 25 年度～27 年度、課題番号 25280119、研究代表者: 佐藤義則)の一環として実施するものです。

・スケジュール:

～平成 26 年 8 月

各機関への協力要請、対応可能性の確認

～平成 26 年 9 月

予備調査実施

	(検討会) 本調査のための質問項目確定
平成 26 年 11 月～12 月	本調査実施
平成 27 年 3 月	第一次集計結果のまとめ (速報版公開)
平成 27 年 12 月	報告書の公開

・調査対象者：

本調査の対象母集団は、日本国内の学術資料を利用する研究者です。したがって、調査対象者としては、原則として、大学や研究所等の学術機関に所属する教員、専門研究者（専任、非専任を問いません）、博士（後期）課程大学院生（留学生を含む）等を想定します。なお、博士（前期）課程あるいは学部学生に調査への参加の呼びかけは行いませんが、仮に回答があった場合でも原則として排除はいたしません。

・機関としての参加：

機関内のすべての調査対象者、あるいは機関を構成する、学部、学科、研究所、研究部門等内のすべての対象者への調査実施にご協力いただける場合には、“機関としての参加”とみなし、個別の調査結果を作成し、各機関あてに報告します。

機関としての参加を希望する場合は、平成 26 年 8 月 20 日（水）までに、SCREAL 事務局までご連絡ください。なお、参加機関に対しては、その後に依頼文書を発送させていただくことにします。

・調査の手順：

調査は原則として、次のような手順で進めます。

1) 調査についての広報等

アンケート調査においては、母集団の構成を正確に反映できるようにするために、できる限り高い回収率を確保することが必要です。このため、各図書館等のウェブページ等での広報や、教授会等での報告などにより、学部、研究科等へご周知くださるようお願いいたします。

2) 調査依頼からアンケート回答まで

① 調査対象者に対するアンケートへの回答依頼

- \* 各機関の担当部局等から調査対象者全員に、メールまたは文書により調査への回答をご依頼ください。
- \* 博士（後期）課程大学院生については、調査対象全員の名簿の入手が困難である場合も予想されますので、指導教員経由、あるいは学部、学科図書室等を経由して、可能な限り多くの大学院生に届くようにご配慮ください。
- \* 調査対象者へのメール、文書においては、調査への協力要請ならびに本調査に

おける個人情報の取り扱いについての説明が必要です。メール、文書のひな形を、参加機関の連絡担当者宛にメールで送付いたしますので、機関の状況に合わせて適宜修正してお使いください。

② 回答希望者による SCREAL ウェブサーバへのアクセス

\* 回答希望者は、送られたメールまたは文書に記載される SCREAL 事務局のウェブサイト、[https://www.screal.jp/inst\\_survey.html](https://www.screal.jp/inst_survey.html) (10月下旬に公開) にアクセスし、調査への参加を承諾したうえでフォームにメールアドレスを入力します。

③ SCREAL のメールサーバによる応答

\* ②のフォーム入力を受け、SCREAL のメールサーバから利用者毎に異なる URL (個別リンク) を回答希望者宛に返送します。なお、個別リンクは、一人の回答者からの複数回答を排除するためにのみ使用するもので、メールアドレスを回答の集計/分析に用いることはありません。

④ ウェブアクセスによるアンケート回答

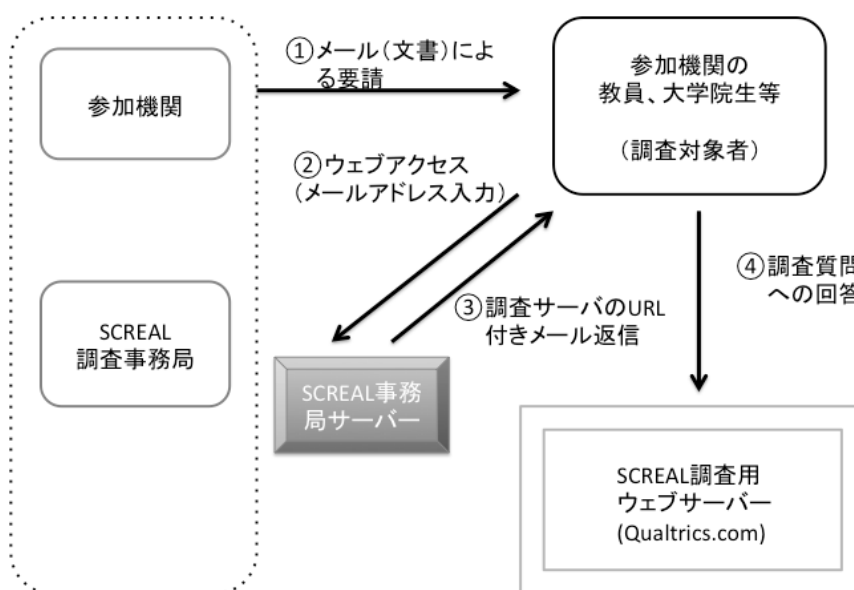
\* 回答希望者は、③によるメール上にある URL をクリックし、調査用ウェブサーバにアクセスし、回答します。

3) リマインダーの送付

回答率を向上させるために、調査期間終了の1週間前に、調査対象者に対し、メールまたは文書により再度の回答呼び掛けを行ってくださるようお願いします。

4) 集計・分析・報告書作成 (SCREAL 事務局)

SCREAL 事務局では、調査終了後速やかに調査結果を集計、分析し、全体および参加機関ごとのとりまとめを行ったうえで、報告を行います。



・ 質問項目

- 1) 予定する質問項目については、現在準備中です。準備ができ次第ご案内させていただきます。なお、以下の URL から、今回調査において多くの質問項目を継承する予定の前回（2011 年）調査の内容をご確認いただけます。

(ア) 日本語版（テスト用） URL :

[https://screal2014.qualtrics.com/SE/?SID=SV\\_etVSPMFuuumdy85](https://screal2014.qualtrics.com/SE/?SID=SV_etVSPMFuuumdy85)

(イ) 英語版（テスト用） URL :

[https://screal2014.asia.qualtrics.com/SE/?SID=SV\\_8iisl0F05WqmG6F](https://screal2014.asia.qualtrics.com/SE/?SID=SV_8iisl0F05WqmG6F)

※ パスワードは「SCREAL2014」（大文字）です

※ 全体を確認するためには、質問に回答していただく必要があります

- 2) 質問項目の確定は 9 月 30 日を予定しています。今後において改訂があり得ることをご了承願います。

○ 質問事項および調査全般に関する問い合わせ先 :

調査についてのご質問は下記宛にお願いいたします。

・ 本件に関する連絡先 :

SCREAL 事務局

東北学院大学文学部 佐藤 義則 [yssat@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:yssat@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp)